

『出雲』ナンバーの導入をめざします。

本年、国土交通省により、自動車の新たな地域名表示ナンバープレート（ご当地ナンバー・図柄入り）の導入条件が緩和され、登録自動車数が5万台以上であれば、複数自治体で取り組むことを条件に認められることになりました。

今回の制度改正を受け、斐伊川・神戸川流域でつくる「出雲の国・斐伊川サミット」と同じ出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町で出雲ナンバーの導入をめざすこととしました。

今後は、アンケート調査等により住民の方の合意を得たうえで応募し、2020年度の交付開始をめざします。

「出雲」ナンバーの自家用車やトラック・バスが各地を走ることで知名度アップにもつながります。出雲ナンバーの導入にむけて、ご理解ご協力をお願いします。

※関連情報は随時、広報等でお知らせします。

めざそう!
出雲
ナンバー

出雲555
い20-20

多文化サマースクール IN 乙立が開催されました。



8月1日、乙立町の立久恵峡わかあゆの里で、今年で2回目となる「多文化サマースクール in 乙立」が開催されました。

このイベントは、NPO法人エスペランサと乙立自治協会が中心となり、ボランティアスタッフらの協力で開催されているものです。

サマースクールには、ブラジルなど外国をルーツに持つ子どもたち21人、市内の日本人小学生17人が参加しました。子どもたちは、そうめん流しや竹とんぼ作りなどを行い、自然豊かな乙立地区で交流を深めました。

『恋する灯台のまち』に認定されました。

（一社）日本ロマンチスト協会が主催する「恋する灯台プロジェクト」において、出雲日御碕灯台が「恋する灯台」に認定され、8月3日、出雲市も「恋する灯台のまち」として認定証を受け取りました。

「恋する灯台プロジェクト」とは、昨年度から始まった、灯台をロマンスの聖地として再価値化するプロジェクトで、現在、日御碕灯台を含め、31の灯台が認定されています。

青い空と白亜の灯台のコントラストや、雄大な日本海に沈む夕日と灯台の景色など、ロマンスの聖地にぴったりの日御碕灯台にぜひ訪れてみてください!



戦争・原爆被爆展を開催

8月7日から18日の間、市役所本庁舎において、長崎市の協力のもと、「戦争・原爆被爆展」が開催されました。

この「戦争・原爆被爆展」の資料の一つとして、今年1月、アメリカのオバマ前大統領が長崎市へ寄贈した自作の折り鶴2羽のうち1羽が展示されました。

長崎市以外で展示されるのは、全国で出雲市が初めてのことです。このほかにも、原爆の熱線を浴び、釉薬が溶けて発泡した瓦など、大変貴重なものが数多く展示され、訪れた方は真剣なまなざしで見入っていました。



人口推移
人 口： 175,119人 (+129)
男 性： 84,875人 (+92)
女 性： 90,244人 (+37)
世帯数： 64,600世帯(+134)

[平成29年8月31日現在]

10月の市税・保険料の納期限

国民健康保険料・後期高齢者医療保険料（第4期）、市県民税（第3期）、介護保険料（第4期）の納期限は

10月31日(火)です。 期限までに忘れずに納めましょう。